

聯合國軍最高司令官總司令部(經濟科學部)

昭和二十一年一月二十八日

対日連絡部經由

報告書提出ニ関スル件

當司令部指令第三號八節C項ニ依リ提出セラレタル報告書受領セシトコロ左ノ如キ誤アリタリ

A. 報告書中ニハ種々ノ大キサノ紙ヲ用ヒタルモノ並ニ手書シタルモノ、甚クラス指令第三號九節ニコレヲ報告書ハ「ハインチ半十一吋ニ丁白紙ニ英語ニテタイプライターニ依リ寫スベキ」トヲ現定シアリ

B. 報告書ハ毎月一日付ニテ前月ニサレタル事業全部ニ互ルベキモノナリ(即チ昭和二十一年一月一日付ノ報告書ハ十二月中ノモノ全部ニ互ルベキナリ)

C. 學術研究會議、東京帝國大學等ノ如キ規模大ナル機關ニシテ少シツツ報告書ヲ提出セルモノアリカ、ル機關ハ其ノ全組織ニ互ル報告書ヲ提出スベク且毎月ノ報告ハ全部一時ニ提出スベキモノナリ

D. 終戦連絡中央事務局ハ報告書ノ内容ヲ月毎ニ分離セス(即チ十一月ト記セル月録ハ十一月、十二月、一月ノ報告ヲ包含セリ)報告書中ニハ同一報告書ニ二以上ノ名稱アルモノアリ(即チ「九州帝國大學農学部」及「學術研究會議」カ同一報告書ニ又「大阪、九州、北海道、東北各帝國大學理學部」ク同一報告書目ニ記載セラレアリ)カカル様式ニテ提出セラレタル報告書ハ綴込ムコト不可能ナリ

F. 指令第三號八節C項ハ「カカル機關ヲシテ毎月一日付ニテ

131 131

F51 131 N46

報告書ヲ提出セシムベシトアリシカルニ昭和二十年十一月一日
報告書目ニシテ昭和二十一年一月二十三日ニ至リ漸ク當部ニ
セラレタルモノタリシ

湯川秀樹先生宛
報告書目ニシテ昭和二十一年一月二十三日ニ至リ漸ク當部ニ
セラレタルモノタリシ
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室
湯川秀樹先生宛
報告書目ニシテ昭和二十一年一月二十三日ニ至リ漸ク當部ニ
セラレタルモノタリシ